

流域広報レポート

平成28年3月21日(月・祝) 天気 晴

東住吉区防災フェスタへ出展！多方面の情報発信が大切！

展示ブースの様子

○昭和57年水害の写真(ブース手前)



昔こんな水害があったなんて
知らなかった



当時通勤しようと家を出たら
あたり一帯水浸しだった

○浸水想定区域図

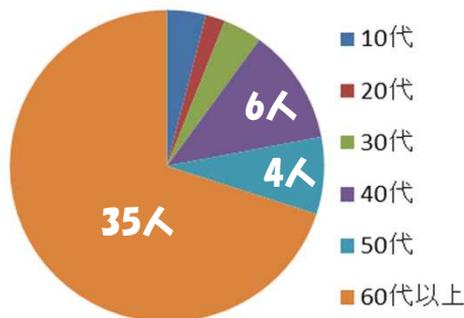


大和川が氾濫すると自分の家が
浸かってしまうなんて知らなかった
(川から何キロも離れているのに！)



アンケート結果(回答者:50名)

Q1. 回答者年齢層



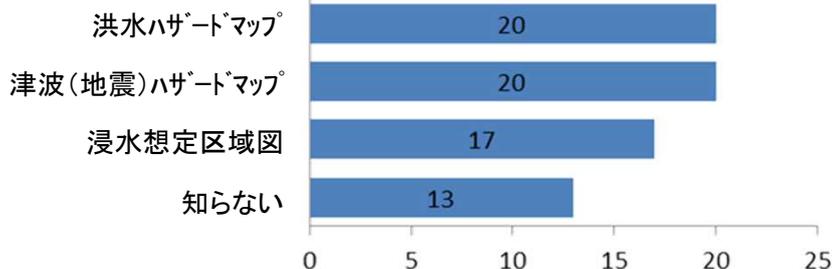
(Q2より)浸水想定図・ハザードマップの認知度はやや高いが、(Q3より)インターネットは見てもらえていない。

⇒紙面やイベントでの情報発信の必要性を再認識！！

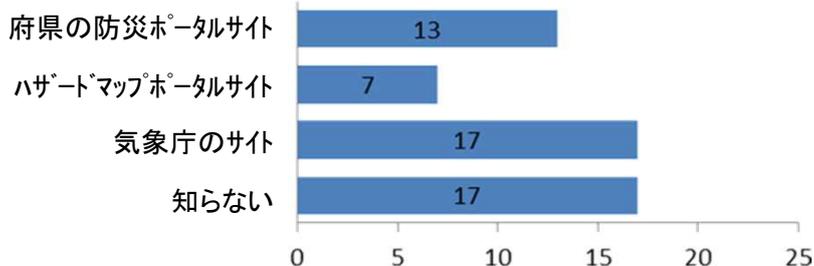
(Q4より)大雨の時には受動的に情報を得ていることも判明。高齢者向けには、従来の情報提供方法(防災無線等)が重要。

⇒インターネットでより簡単に最新情報を利用できる取り組みも必要。

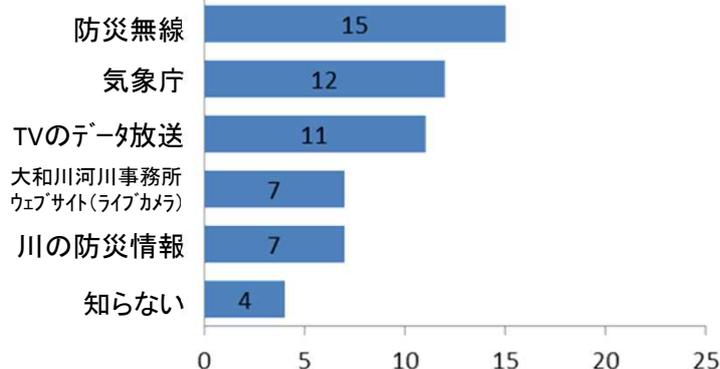
Q2. 知っている防災マップはありますか？(以下、複数回答可)



Q3. 防災に関する情報サイト等を知っていますか？



Q4. 大雨が降った時、大和川に関する情報をどこで知りますか？



【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所 調査課

〒583-0001 大阪府藤井寺市川北3-8-33 TEL 072-971-1381